



## 山と水の体験学習

10月22日、山と水の体験学習が白川町で行われ、笠松中学校生徒14人が参加しました。

森林の無い笠松町と木曾川の上流部にある白川町の森林がどのように繋がっていて、間伐がなぜ必要なのか、切った木がどうなるのかを学び、白川町の中学校生徒と協力して間伐作業を体験しました。生徒たちは、「自分たちの町が洪水にならないのは、森林によって守られているからだ分かった」「間伐作業が想定していたより難しかったが協力してできた」と楽しく学んでいました。

講師の森林文化アカデミーの新津さんは「自分たちの町と森林の関わりを考えるきっかけにしてほしい」と生徒たちに語り掛けていました。



## 名鉄笠松駅イルミネーション 今年も点灯

11月14日、岐阜工業高等学校電子工学科の生徒によるイルミネーションが名鉄笠松駅に灯りました。

点灯式には制作に参加した町子ども会育成協議会のインリーダー生も出席し、「春夏秋冬」をテーマに趣向を凝らしたイルミネーションが点灯すると大きな歓声が上がりました。

点灯期間：1月12日(木)まで



## 力作を展示 第52回笠松町美術展

11月5日から7日までの3日間、笠松中央公民館で美術展が開催されました。

日本画、水墨画、洋画、版画、書、彫塑・工芸、写真、デザインの各部門に162人から210点の作品が出品され、参観者は各部門の力作に見入っていました。